



一勝地小だより

第 6 号

球磨村立
一勝地小学校

文責：永田

2学期スタート

8月25日(金)、学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。いよいよ2学期のスタートです。

始業式では、何事も自分から取り組む2学期にしてほしいという話をしました。

2学期は学習や運動などの取組を充実させるのにも適した時期だと言われます。また、2学期には「水俣に学ぶ肥後っ子教室」(5年生)、修学旅行(6年生)、「集団宿泊教室(5年生)」、ふれあい音楽会(全学年)などの大きな行事があります。

子どもたちにとって実り多き学期となりますよう、今学期も保護者の皆様、地域の皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

球磨村教職員研修

8月8日(火)、球磨村の教職員研修の一環として、合志市を訪れ、ハンセン病に関わる人権について学びました。午前中は、御代志市民センターで熊本大学・熊本保健科学大学名誉教授による「ハンセン病回復者およびその家族の人権」という講話を受けました。また、午後は、菊池恵楓園歴史資料館を見学しました。

ハンセン病は「らい菌」による感染症で、皮膚や末梢神経がおかされる病気です。生活する中で、誰もが「らい菌」に触れる可能性はありますが、個人の免疫力や栄養事情によって、発症する人、発症しない人がいます。現在では、日本を含めて、衛生状態がよく、上下水道が整備されている先進国

学校教育目標

ふるさとを愛し、心豊かで、たくましく、共に学び合う児童の育成
『思いやりでみんながつながる一勝地小』

においては、新規感染者はほとんどいません。仮に発症したとしても、治療法が確立されている現在では、障がいを残すことなく、外来治療で治すことができます。

しかし、病気への誤解や誤った政策によって人権を侵害され、家族や故郷を失うなど大変な人生を送り、そして、亡くなった方々、現在も恵楓園で生活を送っている方々がいらつしやいます。

また、誤った理解による差別事象は、いままなお、なくなっておりません。

どのような人権侵害や差別でも、それは「される側ではなく、する側の問題」です。

誰の心にも、もちろん私自身の心にも差別心はあると思います。だからこそそれを意識するとともに、正しい情報を得ようとするのと、そして、される側に共感し、正しく行動しようとするのが大事だと思えます。



【懐かしの学び舎】

一勝地第一小学校岳本分校
(一勝地第一小学校創立百周年誌より)

PTA除草作業

8月27日(日)のPTA除草作業には、たくさんのご参加をいただきありがとうございました。草が、勢いよく生い茂っていた運動場や畑、体育館周辺等がきれいになりました。おかげさまで、すっきりとした環境で教育活動を進めることができました。